

We Guard All

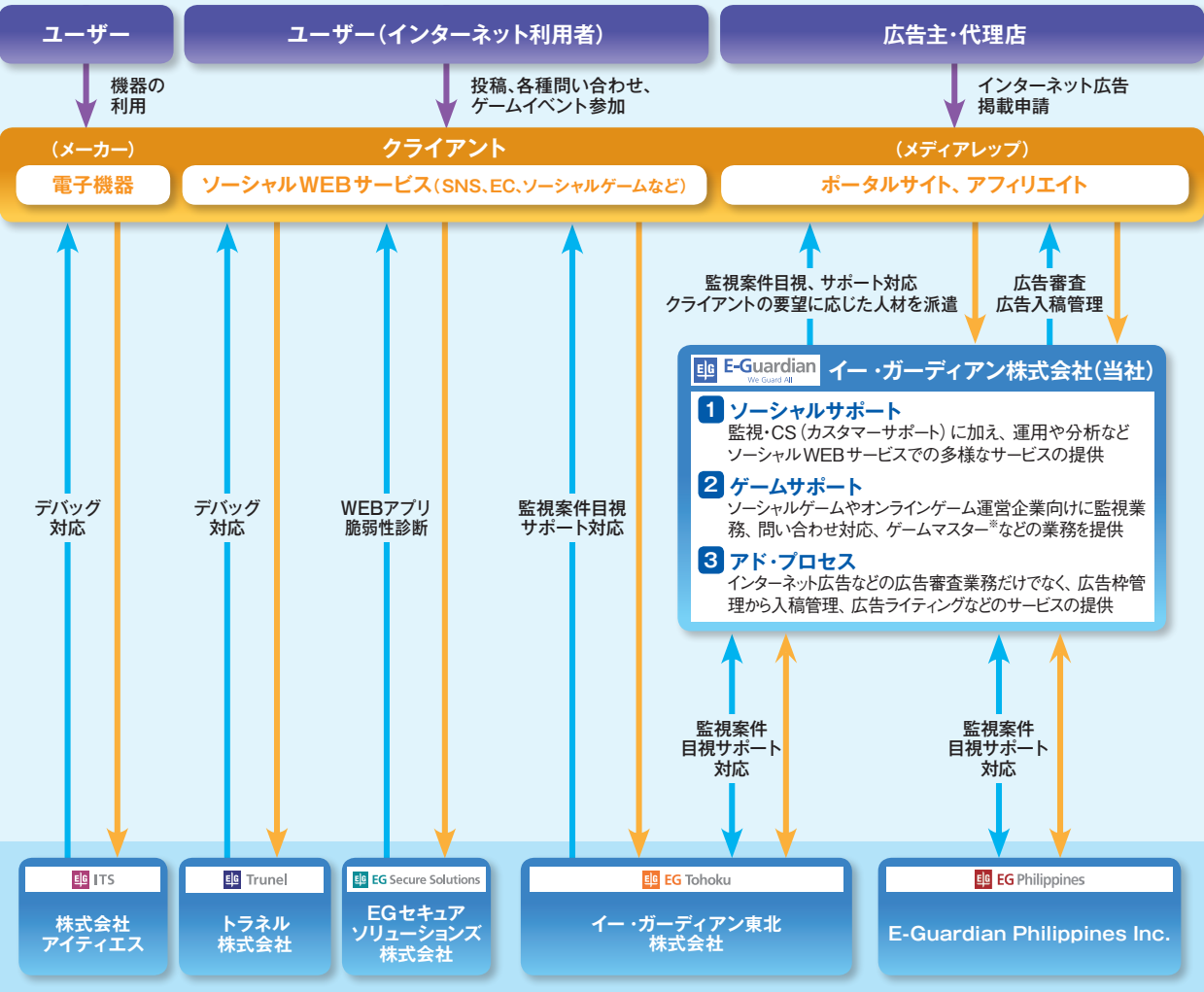
トップメッセージ | 高谷 康久

さらなる成長へ向け
「選ばれる企業へ」

株主・投資家の皆様へ

E-G通信 第22期 第2四半期
2018年10月1日～2019年3月31日

誰もが安心・安全にインターネットを使える社会を目指します。



2018年10月付でEGビューマンソリューションズ株式会社及びリアルレピュテーション・リサーチ株式会社が当社が吸収合併しました。

1,000社を超える運用実績	・UUUM 株式会社 ・ソフトバンク株式会社 ・株式会社バンダイナムコエンターテインメント	・グリーアドバイジング株式会社 ・ネットイース社 ・楽天株式会社	・株式会社CAM ・株式会社ネットマーケティング ・株式会社リクルートライフスタイル	その他多数
----------------	---	--	--	-------

連結子会社 ← 対応内容に応じた料金の支払 ※オンラインゲーム上においてユーザーのパトロールや誘導を行うサポートスタッフ

新しい分野での成長により、本社移転コストを吸収し、引き続き増収増益を達成しました。

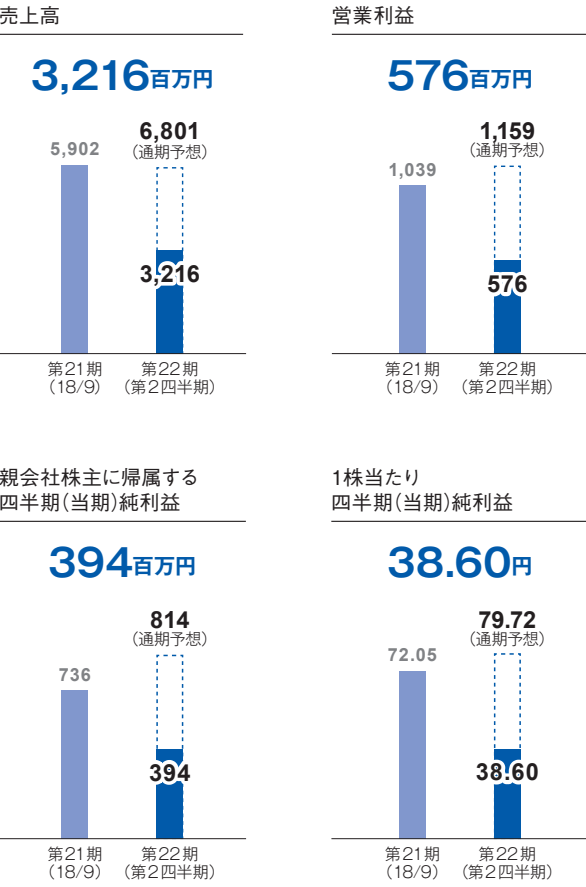
当社グループは、総合ネットセキュリティ企業を目指し、各分野でNo.1サービスの量産を目標に、事業拡大と収益性向上を追求してまいりました。

IoTやAI、仮想通貨、CtoCやシェアリングビジネスなど、インターネット社会は様々な新しい要素を生み出しながら、ますます拡大しています。そして、どの分野をとってみても安全・安心が不可欠であるばかりでなく、ますます重要になってきています。その流れをしっかりと取り込むことで、当社は市場の変動にも影響されにくい、確固とした事業基盤を築いてまいりました。当社グループの“We Guard All”という理念と事業展開は、今後さらに一層社会で必要とされるものと確信しています。皆様の一層のご支援を賜りますように、お願いいたします。



代表取締役社長
高谷 康久

業績ハイライト



Point グループシナジーにより業績が向上

投稿監視、カスタマーサポート、ソフトウェア及びハードウェアのデバッグ、並びにセキュリティ脆弱性診断等、当社グループの様々なサービスを併せて提供し、多様化する顧客ニーズに対応しております。

インターネット社会の拡大を支えて安定成長を実現するとともに、 エンドユーザーから選ばれるブランド力のある企業を目指します。

2019年9月期（第22期）上期の業績を どのように評価されますか。

おかげさまで前年比で2桁の増益を達成することができました。主にCtoCや仮想通貨関連などソーシャルサポートでの業績拡大が増益に寄与しました。

ゲームサポートについては、国内向け売上は想定したほどには伸びませんでした。海外ゲーム会社への売上が拡大しました。また、広告関連の売上も増加しました。

業績を伸ばした背景について 詳しく教えてください。

まず市場環境の変化ですが、ソーシャルサポートについては、CtoCやシェアリングエコノミーの市場が順調に拡大しています。特にキャッシュレス化は政府が強力に推進し、キャッシュレスでの決済比率を金額ベースで4割以上に引き上げる目標を掲げています。商店などでは助成金によるキャッシュレス端末の導入が進み、今後ますます社会のキャッシュレス化が加速していくと考えられます。このようなサービスは決済やそれに伴う本人認証が不可欠で、その需要をしっかりと取り込めたことが上期の業績に大きく貢献しました。

ゲームサポートについては、市場そのものは堅調な成長を維持しているものの、国内メーカーによる大き

なヒット作品が出ていません。その代わりに海外メーカーが国内ゲーム市場に浸透してきている状態です。ただ、そのことによる多大な影響は回避することができました。海外メーカーが日本に進出するにあたっては、日本語によるサポートを必要とするため、当社は海外ゲーム会社向けの売上拡大に注力し、その需要を取り込むことができたからです。

アド・プロセスについては、インターネット広告市場は順調に拡大を続けておりますが、その反面人手不足が課題となっています。当社では業務フロー構築から運用代行まで提供し、課題を担える顧客企業をサポートすることによって売上が拡大しました。

このように、当社はインターネット社会全体に不可欠なサポートやセキュリティに関するサービスを提供しているため、顧客企業が商品を生み出せば当社のサービスを必要とする、という関係性を打ち立てています。また、特定の分野や顧客に過度に依存せず、幅広い分野、幅広い顧客への展開によって、上期の国内ゲーム市場のように想定外の展開があったとしても、それをカバーできる体制を構築してきました。そのような蓄積が当社の安定成長を支えていると考えています。

■ 新社屋に移転されましたが。

旧社屋は3フロアに分かれていて、社内のコミュニケーションも取りづらい面がありました。ここ虎ノ門琴平タワーでは1フロアに統合できたために、社内のコミュニケーションは以前よりもスムーズになっています。また、虎ノ門と言えばオフィス街としての地格も高いため、顧客からの信頼に加え、優秀な人材を採用する上でもアドバンテージを感じています。

■ 今後の展望について教えてください。

直近では、営業改革によりグループ会社の商材を既存顧客に販売する体制を強化したことで、シナジー効果が拡大し、業績に寄与するものと考えています。

また、リアルタイムAI動画監視フィルタを共同開発するなど、AI活用による効率化を進めています。従来のテキストや画像をAIが判別するだけでなく、近年サービスが増加している動画についても効率化を進めます。

中長期的には、あらゆるものがインターネットにつながるIoTの普及が進む中で、当社が持つソフトとハードの両面でデバッグと脆弱性診断を提供できる強みを活かしていきます。また、シェアリングエコノミーやFintech分野では早期参入により培った経験が競争優位をもたらします。こうした点で、今後とも安定成長を継続できるものと考えています。

また、イー・ガーディアンのブランディングも追求していきたいと考えています。当社はいわばインターネット社会の黒子、縁の下の力持ちとして、エンドユーザーの面前には表れてこない業務を担っています。エンド

ユーザーが「イー・ガーディアンにサポートされているならこのサービスは安心だ」と感じてもらえるブランド力のある企業を目指します。

■ 株主の皆様にメッセージをお願いします。

当社は、インターネット社会に不可欠な安全・安心に関わるサービスを提供し、今後ともインターネット社会の発展と共に着実に成長してまいりますので、引き続き一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

代表取締役社長
高谷 康久



1 CtoCパトロールサービスの提供開始

現在、フリーマーケットアプリやインターネットオークションといった個人間で取引を行うCtoCサービスは市場が拡大しております。しかし、偽ブランド出品や金券を用いたマネーロンダリングなど、違法性のある取引が問題視されております。当社はSNSを用いた違法取引の監視を行うCtoCパトロールサービスの提供を開始いたしました。24時間365日の監視体制によりSNS上でやりとりされる不正取引を検知します。取引を行う前にも監視の幅を広げ、スピーディかつ専門性の高い対応をすることで、CtoCサービスにおける健全性や信頼性の担保に貢献いたします。



2 本社オフィスを移転

当社は2019年1月に東京都港区虎ノ門へ本社オフィスを移転いたしました。業績拡大に伴う人員増加への対応や、業務環境、社員のモチベーション向上を目的としております。新オフィスでは、ワンフロアにグループ会社含めてオフィスをまとめることでコミュニケーションの向上を図り、さらなるグループシナジーの創出を目指してまいります。



商号	イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.
代表者名	代表取締役社長 高谷 康久
設立	1998 (平成10) 年5月
資本金	36,428万円
従業員数	連結1,382名 (うち契約社員数1,041名)
本社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー 8F TEL: 03-6205-8857 FAX: 03-6205-8858
センター所在地	■ 東京センター 〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー 28F TEL: 03-6770-2192 FAX: 03-6770-2193 ■ 立川センター 〒190-0012 東京都立川市曙町 2-34-7 ファーレイストビル 6F TEL: 042-847-3300 FAX: 042-847-3301 ■ 大阪センター 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 1-5-17 堂島グランドビル 7F TEL: 06-6346-6080 FAX: 06-6346-6180 ■ 大阪 GAMELABO 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2-4-13 阪神産経桜橋ビル 4F TEL: 06-4400-1030 FAX: 06-6341-5282 ■ 宮崎センター 〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東 4-1-2 宮崎野村證券ビル 7F TEL: 0985-42-7900 FAX: 0985-42-7901 ■ 熊本センター 〒860-0863 熊本県熊本市中央区坪井 2-2-35 熊電プラザビル1F TEL: 096-341-2525 FAX: 096-341-2526

- 関連会社
- イー・ガーディアン東北株式会社
 - トラネル株式会社
 - EGセキュアソリューションズ株式会社
 - 株式会社アイティエス
 - E-Guardian Philippines Inc.

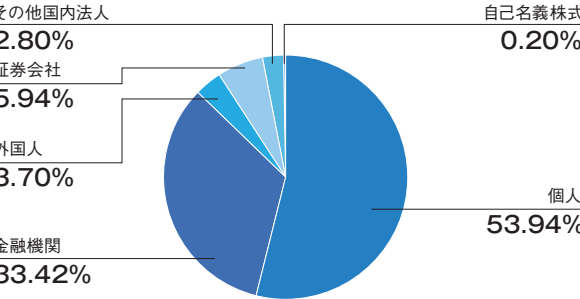
- 事業内容
- ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング
 - リアルタイム投稿監視業務
 - ユーザーサポート業務
 - オンラインゲームカスタマーサポート業務
 - コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務
 - コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・
 - 広告審査代行サービス業務
 - 人材派遣業務
 - デバッグ業務
 - サイバーセキュリティ関連業務

株式の状況	
発行可能株式総数	32,400,000株
発行済株式の総数 [うち自己株式 20,519株]	10,405,800株
株主数	10,388名

大株主 (上位10名)		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,096,580	10.56
高谷 康久	796,804	7.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	647,600	6.24
野村信託銀行株式会社 (投信口)	480,800	4.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	366,200	3.53
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	186,100	1.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	177,300	1.71
ジェービーモルガンバンクルクセンブルグエスイ 1300000 (常任代理人株式会社みずほ銀行)	136,477	1.31
溝辺 裕	133,650	1.29
株式会社SBI証券	128,646	1.24

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 持株比率は小数点第2位未満を四捨五入して表示しております。
3. 自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(160,780株)は含まれておりません。

所有者別株式数の分布状況





コラム Column

新しい支払い方法「QRコード決済」とは？

近年、スマートフォンの普及により「〇〇ペイ」と呼ばれるQRコードによるキャッシュレス決済が急速に拡大している。QRコード決済とは、事前にスマートフォンのアプリにお金をチャージしたり、クレジットカードや銀行口座を登録しておくことで、現金を使わずスマートフォンのみで買い物ができる仕組みだ。

2018年4月に経済産業省が発表した「キャッシュレス・ビジョン」でも、2025年までに日本のキャッシュレス決済比率を40%程度まで倍増させることを目標としており、今後もますます社会のキャッシュレス化が加速していくと考えられる。

当社では、キャッシュレス社会に対応する厳格かつ簡略な新しいセキュリティサービスとして、株式会社Liquidと提携しオンライン上で本人確認を完結する「eKYC」への対応を開始。今後も、ミッションである「We Guard All」の実現に向け、人々の生活をより便利に、豊かにするサービスの開発に尽力していく。

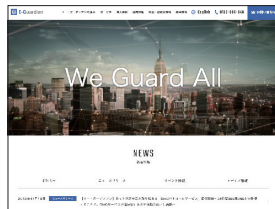


ホームページのご紹介

ホームページでも様々な情報をご覧いただけます。

トップページ

<https://www.e-guardian.co.jp/>



株主・投資家情報

<https://www.e-guardian.co.jp/ir/>



株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月に開催
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。 やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載 URL

<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6050/6050.html>



E-Guardian
We Guard All

イー・ガーディアン株式会社

<https://www.e-guardian.co.jp/>

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F

TEL: 03-6205-8857 FAX: 03-6205-8858

